

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法  
 学校番号 63  
 千葉県立流山おおたかの森高等学校 全日制の課程 国際コミュニケーション科

1 期待する生徒像

国際社会や海外で暮らす人々に興味があり、積極的に自己表現と自己評価を行い、自分の意志で何事にも挑戦し、次のア及びイに該当する者。

ア 学習成績に優れ、外国語、とくに英語の学習に強い関心を持ち、意欲的にコミュニケーション能力を向上させる意志を持つ者。

イ 特別活動等（生徒会活動・部活動）において優れた成績、実績を持ち、本校でもそれを活かそうとする者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
ア 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名9分程度
イ 適性検査	国際コミュニケーション科の学習に必要な適性をみる検査 英語の質問に英語で答える 検査時間：6分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔550点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（国語・社会・数学・理科は100点満点、英語は100点満点の得点を1.5倍して150点満点）の合計550点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	100点満点において30点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔155点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が10日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特記事項について加点する。他の記載事項について、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	記載事項について、総合的に判定する際の参考とする。

### (3) 学校設定検査〔38点満点〕

#### ① 面接〔18点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを3点、bを2点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各9点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 今までの取り組み	中学校時代に頑張ったことが明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 面接に臨む態度	面接に臨む態度が適切である。 基本的な面接作法（言葉遣いや身だしなみ）が身に付いている。

#### ② 適性検査〔20点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、アについては8点満点で、イについては2点満点で評価し、2名の評価者の評価（各10点満点）を合計し、得点化する。2名の評価者の合計点が4点以下の場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 表現力	適切な英語で表現することができる。
イ コミュニケーション力	意欲的・積極的に自分の意見を伝えることができる。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接・適性検査）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点		総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	適性検査	
550点	135点	20点	18点	20点	743点

### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いほしない。  
イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

## 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。